



子どもが誕生した時に「周りの人たちはもちろん可愛がってくれるよ。でも、子どもの『しつけ』は二人でしっかりとやるんだよ。」と、知人からアドバイスを受けました。その通りだと理屈では分かっているけれども、産まれて間もない子どもに對して、何をどうすればいいのかと考え込んでしまいました。子育ての先輩に話を聞いたり、本を読んだりしながら悪戦苦闘し、その中で分かってきたこと、それは愛情を持って育て、子どもが安心して生活できる居場所(特に心の面で)を作ってあげることです。こうした環境の中で、初めて『しつけ』ができるのではないのでしょうか。

子どもの誕生後、家族が願うのは次の三つのことではないでしょうか。この三つのことが実現すれば、一人でも何とか世の中を生きていけるからです。

- ① 心身ともに健康に育ちますように
- ② 人に好かれますように
- ③ 将来お金に困りませんように

実際には、ご先祖様や神様をお願いして何とかなるわけではないので、今できることとして家族で次のことをし

ています。

①に關わって・・・決められた時間に食事を取らせる。いろいろな食材を摂らせる。運動させる。一緒に遊ぶ。上手にできたらほめる。抱き上げる。愛情を注ぐようにしています。

②に關わって・・・名前を呼ばれたら手を挙げる。相手に笑顔を返す。「おやすみなさい」「ありがとう」の練習。感謝の気持ちを持つようになつて欲しいものです。

③に關わって・・・まだ何もしていません。もう少し先の取り組みです。物や金銭を大切に、自立して生活できるようにさせたいです。

子育ては、

小さな事柄を毎日積み上げていくことかなと考えている。昨今です。また、子育てを通して、親が子どもに育てられていく。面もあるようです。大変なこともあれば、楽しいこともたくさんあります。子どもは育てるものではなく育つもの、しかも親の背中を見て育つとある本で読みました。子どもの手本になりますように大人も努力したいと思っています。



「子育ては笑いと涙のヤジロベエ」

「ハッピー子育て川柳」より

伝言板

富士・東部保健福祉事務所(富士・東部保健所)

重度心身障害者の居室整備に対する助成

障害者の方が、住宅で生活しやすいように専用の居室などを改修する場合に、助成を行っています。

対象障害者

▽身体障害者手帳(肢体)1級・2級

▽療育手帳A

▽年齢が18歳以上(15~17歳は協議)

▽日常生活において常時介護を必要とする方

申請条件

▽申請者は富士・東部地区に住んでいる障害者又はその者と同居する方

▽前年度の所得税額が287,500円以下の世帯

▽工事の延べ面積が、50㎡以下

▽同一建物でこの助成を受けていない対象経費

▽工事—専用居室、浴室、便所、天井、

走行リフト他

▽設備—洋式便器、浄化槽、キッチン

セット他

助成額

▽世帯の所得状況により決定。最大で

130万円

申請先 市福祉事務所 障害者支援担当

問合せ先 福祉課 障害福祉

☎0555(24)9032

狂犬病予防注射について

犬の飼い主は、毎年1回狂犬病予防注射を受けさせなければなりません。

狂犬病の怖さ!

ウイルスが原因で、主に発症した犬に咬まれることで感染します。けいれんや麻痺などの神経症状が現れ、発症すると100%の方が死亡します。

狂犬病の発生状況

日本国内では、人は昭和29年、動物では昭和32年を最後に発生がありません。しかし、世界では年間約5万5千人が狂犬病に感染して亡くなっています。また平成18年には、日本人が狂犬病流行国で犬に咬まれて、帰国後に発症した事例が2例ありました。

国内での発生はなくても、一部の近隣諸国では狂犬病がまん延しているため、日本への侵入リスクは皆無ではありません。万が一に備え、必ず飼い犬には予防注射を受けさせましょう。4月には各地区で集合注射が実施されます。

問合せ先 衛生課

☎0555(24)9033